

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-750	12-032	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>The cardioprotective association of average alcohol consumption and ischemic heart disease: a systematic review and meta-analysis.</p> <p>虚血性心疾患と飲酒の心保護作用: 系統的レビューとメタ分析より</p>		
執筆者		
Roerecke M, Rehm J.		
掲載誌		
Addiction. 2012 Jul;107(7):1246-60. Review.		
キーワード		
飲酒量、アルコールによる心保護作用、観察研究、虚血性心疾患、メタアナリシス		
要 旨		
<p>目的: 疫学研究ではしばしば、少量から中等度の飲酒は虚血性心疾患に保護的に作用すると示している。この研究の目的は虚血性心疾患 (IHD) リスクについて日常の飲酒量と性別やエンドポイント(発症と死亡)に層別化して量反応関係を明確にする事である。</p> <p>方法: 発表された論文の系統的な検索については電子データ (1980~2010年) を用い、IHD の発生に平均的な飲酒が関連する相対リスクについて 44 の観察研究 (ケースコントロール研究、コホート研究) を用いて調べた。一般化最小二乗法の傾向モデルは、階層化された連続量によるメタアナリシスで最良の量反応曲線を導き出すために使用された。さらに長期の禁酒者と少量から中程度の飲酒者のリスクを比較するためにカテゴリ化したメタアナリシスを行った。</p> <p>結果: 本メタアナリシスには 957, 684 人がエントリーした。また 38, 627 人の IHD (死亡あるいは発症) 症例を認めた。IHD の発症及び死亡とアルコール飲酒量との関連は発症あるいは死亡、男女で異なった量反応曲線を認めた。何らかの心臓の保護的な関連は男女、IHD の発症、死亡のいずれでも認められたが、特に平均 1~2 単位(その地域において一般的に飲酒される種類の一杯に含まれているアルコール量、イギリスの 8g からアメリカの 14g まで地域によって異なっている。カナダではアルコール量換算 13.5g である。日本では日本酒 1 合(アルコール量換算で約 20g)が使われている)/日の飲酒者の信頼区間は広く、また研究ごとの不均一性も認めた。</p> <p>まとめ: 飲酒と虚血性心疾患の心保護的な関連性については全ての飲酒者、特に少量の飲酒者において想定できなかった。全体的な危険率は他の病気と虚血性心疾患との関連においては飲酒によるリスクの低い基準や安全について多くの情報を、一般市民や医療職において知らせる事が重要である。飲酒量による虚血性心疾患の心保護作用とその他の疾患を合わせた総合的なリスク効果比についてのより多くのエビデンスが一般集団及び内科医への、安全あるいは低いリスクの飲酒量に関する情報提供をするために必要である。</p>		